2013年度
環境活動レポート

太陽油脂株式会社

目次

1 組織の概要 ……P·3
2 対象範囲 ……P·3
3 環境方針 ……P·4
4 環境目標 ……P·6
5 環境活動計画 ……P·6
6 環境目標の実績 ……P·8
7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ……P·9
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ……P·12
9 代表者による全体評価と見直しの結果 ……P·13
10 環境活動報告（2013年度） ……P·14

1·組織の概要

1）事業所名及び代表者名

太陽油脂株式会社
代表取締役社長　　網干　雄三郎

2）所在地

神奈川県横浜市神奈川区守屋町2-7

3）環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者
製造二部長　　原　充宏
TEL 045-441-4962
FAX 045-441-9671

● 事業の概要

1）事業内容

■加工油脂部門･･･ショートニング、マーガリン、
その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
■家庭品部門･････家庭用･業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2）事業規模

生産量　　62,922t／年
従業員数　230人（2014/1/31現在）
床面積　　14,821.76㎡

2·対象範囲

1）認証･登録範囲

■加工油脂部門･･･ショートニング、マーガリン、
その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
■家庭品部門･･･家庭用･業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2）レポートの対象期間及び発行日

■対　象　期　間　：　2013年04月01日～2014年03月31日
■発　　行　　日　：　2014年06月30日

3·環境方針

A-KE002-02-1

環　境　方　針

太陽油脂は、「誠実をモットーに、確かな技術とモノづくり精神に裏付けられた、人と、地球に優しい、安心・安全な製品の提供と各種の経営活動を通じて、心豊かで健康的なくらしと社会・自然の持続可能な発展に貢献します」と掲げた企業理念の下に、以下の環境方針を定めます。

1. 環境、社会との共生に視点をおいた企業活動

1-1、太陽油脂は重要な社会的課題･環境問題に真摯に対応する経営の実践を通じて社会的責任を果たしていきます。
1-2、太陽油脂は「人、社会そして環境への貢献」を考えた具体的な経営活動･事業活動を積極的に展開していきます。

2. 人と環境に優しい製品の提供

2-1、太陽油脂は、「人と、地球に優しい」に拘った食用油脂製品と石けん製品を通じて、お客様に豊かで「安心･安全な生活」とともに「環境に優しい生活」をも提供していきます。
2-2、太陽油脂は、原料調達･生産から製品使用までの企業活動のあらゆる段階での環境への取り組みにおいて、環境関連法規、自主ルール等を順守しつつ「省資源･省エネルギー」「排水･廃棄物削減、リサイクル」等を推進していきます。

太陽油脂は、この環境方針の全従業員への周知徹底を行い、全員参加による環境、社会との調和を目指した企業活動を推し進めていきます。

改訂日　2013 年　7 月　1 日
太陽油脂株式会社
代表取締役社長
網干雄三郎

● 環境管理実施体制

- 代表者（社長）
- 環境管理責任者
  - EA-21事務局
- 各部門（部署）長
- 本社･工場 環境活動推進委員
- 本社･工場　各部門（部署）環境活動担当者 社員及び常駐する協力会社社員を含む従業者

4・環境目標

2012年度の実績を踏まえ、2013年4月に見直した環境目標及び中期環境目標は以下の通りです。
（尚、2012年度は新工場稼動及びコージェネ・システム故障停止に伴うマテリアル使用量、エネルギー使用量増加の為、年度中（11月）に年度目標値の再見直しを実施）

（年度：4月～3月　以下同じ）

製品生産量当たり	基準年度実績 2010年度	基準年度比 2011年度目標	基準年度比 2012年度目標	基準年度比 2013年度目標
二酸化炭素排出（ｋｇ－CO2／ｔ）	224.87	99.24%	105.68%	105.16%
廃棄物排出量（ｔ／ｔ）	0.0642	98.60%	110.07%	105.04%
食品廃棄物の発生抑制（ｔ／ｔ）	0.0234	101.92%	120.13%	100.0%
食品リサイクル リサイクル率（%）	98.25%	98.00%	98.00%	98.0%
排水量（m3／ｔ）	2.95	100.00%	122.54%	120.13%
化学物質使用量（ｋｇ／ｔ）	0.0725	99.03%	75.00%	81.21%
グリーン購入（作業着、事務用品）	1,353,173円	105%	221.70%	グリーン購入率の現状把握（職服、事務用品）
環境配慮設計（家庭品事業）	20品/年	20品/年	20品/年	20品/年
地域とのコミュニケーション（石けん学習会など）	115回/年	80回/年	100回/年	100回/年

5・環境活動計画

主要な取り組み内容と結果

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの 照明器具採用。 ・LED照明及び省エネタイプ蛍光灯を積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減 ⑤ 太陽光発電（パネル）の増設(40ｋｗｈ）（2013年度下期設置稼動）
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底 ④ 高効率のボイラー設備へ更新(2013年度下期更新稼動)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用（職場場所限定）で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
食品廃棄物 発生抑制	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造（収率ＵＰなど） ② 賞味期限切れ製品の削減（ムダのない生産計画）
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
排水量削減	総排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換（ワンタッチ式） ③ 屋根雨水回収計画の作成
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 使用量の適正管理による現状使用原単位の維持
グリーン購入	グリーン購入推進	① グリーン購入化率の現状を把握する。 ⇒次年度から実施率目標に変更予定（対象・・職服、文具事務用品）
環境配慮設計	環境配慮設計	石鹸事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をﾍﾞｰｽにした商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	① 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施（本社工場～入江橋周辺） ③ お肌しあわせｼﾘｰｽﾞのドネーション・キャンペーン継続実施による東日本大震災被災地区の子供たちへの支援 ④ ペットボトル・キャップを回収し小学校へ寄付

6・環境目標の実績

製品生産量当たり	基準年度実績 2010年度	基準年度比 2011年度実績	基準年度比 2012年度実績	基準年度比 2013年度目標	基準年度比 2013年度実績	評価
二酸化炭素排出（ｋｇ－CO2／ｔ）	224.37	94.58%	103.12%	105.16%	102.33%	○
廃棄物排出量（ｔ／ｔ）	0.0642	96.57%	109.75%	105.04%	98.16%	○
食品廃棄物の発生抑制（ｔ／ｔ）	0.0234	97.86%	122.78%	100.00%	99.72%	○
食品リサイクル リサイクル率（%）	98.25%	98.31%	98.37%	98.00%	98.36%	○
排水量（m3／ｔ）	2.95	95.59%	123.73%	120.13%	136.04%	×
化学物質使用量（ｋｇ／ｔ）	0.0725	93.24%	72.66%	81.21%	76.33%	○
グリーン購入（作業着、事務用品）	￥1,353,173	135%	323.65%	グリーン購入可能な職服、事務用品の把握をする	グリーン購入可能な職服、事務用品の把握に努めた現状・・48.5%	○
環境配慮設計（家庭品事業）	20品/年	42品/年	34品/年	20品/年	41品/年	○
地域とのコミュニケーション（石けん学習会など）	115回/年	86回/年	84回/年	100回/年	106回/年	○

1）環境負荷の実績

			基準年実績 2010年度	実績 2011年度	実績 2012年度	実績 2013年度	基準年度比(%)
二酸化炭素排出量	電気使用量：排出係数 0.374 (kg-CO2/kWh)	原単位（ｋｇ-CO2／ｔ）	22.87	23.11	43.84	53.48	233.84%
	化石燃料使用 二酸化炭素 排出量	原単位（ｋｇ-CO2／ｔ）	201.99	189.46	187.71	176.19	87.23%
	合計	原単位（ｋｇ-CO2／ｔ）	224.37	212.21	231.38	229.59	102.33%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	原単位（ｔ／ｔ）	0.00145	0.00129	0.00150	0.00148	102.07%
	産業廃棄物排出量	原単位（ｔ／ｔ）	0.0627	0.06007	0.0689	0.0614	97.93%
	合計	原単位（ｔ／ｔ）	0.0642	0.0620	0.0704	0.0629	97.98%
食品廃棄物	発生量	t	1,479.4	1,561.9	1,762.6	1,433.57	96.90%
	発生抑制量	t	143.34	188.98	0	140.25	97.85%
	再生利用量	t	911.944	973.35	1,186.53	917.161	100.57%
	熱回収量	t	567.47	588.356	576.08	516.41	91.00%
	減量量	t	0	0	0	0	0
	再生利用等以外の量	t	0	0	0	0	0
	廃棄物としての処分量	t	0	0	0	0	0
再生利用等の実施率	食品リサイクル率	(%)	98.25%	98.31%	98.37%	98.36%	100.11%
排水量	排水量	原単位（m3／ｔ）	2.95	2.82	3.65	4.01	136.04%
化学物質使用量	化学物質使用量	原単位（ｋｇ／ｔ）	0.0725	0.0676	0.0527	0.0553	76.33%

7・環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1）主要な取り組み内容と結果

活動項目		取り組み内容	取り組み結果
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に 省エネタイプの照明器具採用。 ・LED照明及び省ｴﾈﾀｲﾌﾟ蛍光灯を積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定 (エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減 ⑤ 太陽光発電(パネル)の増設(40kwh)	① Hf32w･･･9ヶ所交換 ＬＥＤ･･･64ヶ所交換 ② 各部署で実施 ③ 温度設定各部署で実施 ④ 各部署で実施 ⑤ NCC工場屋上に40kwh設置 (2013年11月設置稼動)
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底 ④ 高効率のボイラー設備に更新	① 該当部署(営業部など)で実施 ② 商用車及び入構車輌で実施 ③ 商用車で実施 (エコドライブ教育の実施) 商用車2台をハイブリット車に更新 ④ 高効率な貫流ボイラーに更新 (2014年1月設置稼動)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。	①・② 各部署で実施 ③ 業務部で実施 ④ 可能な部署で実施 ⑤ 市の指導に基づき各部署分別徹底
	産業廃棄物排出量	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減	① 廃白土削減目標に向け活動 (残油分削減に注力し活動中) ② 不適合削減目標に向け活動
食品廃棄物 発生抑制	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造(収率ＵＰなど) ② 賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画)	①・② 2013年度の発生原単位実績 :0.0233ｔ/ｔ(基準年比:99.72%)
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。	① 2013年度の資源化率:98.36%
排水量削減	総排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換(ワンタッチ式) ③ 屋根雨水回収計画の作成	① 各部署実施 ② 各部署で実施 ③ 検討実施
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 適正使用による現状使用原単位の維持	① 使用量削減実績 基準年度比　：　76.33%
グリーン購入	グリーン購入推進	① グリーン購入化率を把握する。 (対象・・職服、文具事務用品)	グリーン購入可能な職服、事務用品の 把握を実施。現状・・48.5%
環境配慮設計	環境配慮設計	石鹸事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をﾍﾞｰｽにした商品開発	石鹸事業 ① 41品種を商品開発
地域とのコミュニケーション	地域との コミュニケーション	① 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施 (本社工場～入江橋周辺) ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続 実施による東日本大震災被災地区の子供たちへの支援 ④ ペットボトルのキャップを回収し小学校へ寄付	① 年間106回実施 ② 本社工場周辺の清掃活動実施 (51回/年) ③ お肌しあわせシリーズによる ドネーション・キャンペーン (東日本大震災被災地への支援)実施 ④ ペットボトルのキャップを回収し 14kg小学校へ寄付

2）主要な取り組みの評価

ＥＡ21による環境活動も6年目となり全社的に活動は定着してきていると感じられる。2013年度は2011年度に作成した中期計画の最終年度にあたる為、昨年度未達成であった環境目標を達成すべく全部門一丸となって活動を行いました。二酸化炭素排出量原単位削減の取組みは前年度より約1%改善し目標を達成しました。廃棄物排出量原単位削減の取組みは前年度より約11.6%改善し目標を達成、食品廃棄物排出量原単位も前年度より約23%改善し目標を達成しました。食品リサイクル率維持の目標や化学物質使用量原単位削減、環境配慮製品開発の目標、地域とのコミュニケーションなどの目標も達成しました。特に地域貢献活動として工場周辺の清掃活動や横浜市環境保全活動への参加、ドネーション・キャンペーンによる東日本大震災被災地の子供たちへの支援も実施いたしました。しかしながら、排水量原単位削減の取組みは、前年度より約12%増加し未達成となりました。製造プロセスの変更や水を多く使用する製品が増加した事が要因ではありますが、次年度以降の取組みにおいて削減し目標を達成して行きたいと思います。

3）次年度の取組内容

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・LED照明を積極的に導入 ② 昼休み消灯／パソコン・テレビ待機電力削減 ③ 6月～9月　クールビズの実施 ④ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ⑤ 製造設備の適正設定による無駄の無い製造の実施 (冷凍設備の適正使用など、不適合品や工程事故発生抑制など無駄の無い製造)
	化石燃料使用量削減	①出張時の公共交通機関の積極利用 ②生産量に合わせた効率の良い積載 ③生産量にあわせた効率の良いボイラー運転 ④コージェネ設備導入の検討
廃棄物排出量削減	一般廃棄物 排出量削減	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量削減	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
総排水量削減	水・工水 使用量削減 排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換(ワンタッチ式) ③ 冷却水及び洗浄水適正使用による水使用量の削減 ④ 屋根雨水の回収計画推進
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 適正使用による現状使用原単位の維持
食品廃棄物 発生抑制	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造(収率ＵＰなど) ② 賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画) ③ 不適合品や工程事故の発生抑制(ムダの無い製造)
	食品リサイクル率	再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
グリーン購入	グリーン購入の推進	① グリーン購入化率をＵＰさせる。(対象・・職服、文具、事務用品)
環境配慮設計	環境配慮設計	石鹸事業 ① 合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発 ② ＲＳＰＯ油使用計画案を作成する。
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、 ① 手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施(本社工場～入江橋周辺) ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続実施による 東日本大震災被災地区の子供たちへの支援。 ④ ペットボトル・キャップを回収し小学校へ寄付

8･環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1）適用法令等の順守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者（同代理者）選任･解任届出書」、「大気関係公害防止管理者（同代理者）選任･解任届出書」、「水質関係公害防止管理者（同代理者）選任･解任届出書」･･･問題なし
大気汚染防止法	ボイラー、ガスタービン、悪臭	「ばい煙発生施設（使用、変更）届出書」排煙（Ｎｏｘの許容限度）の規制基準
横浜市生活環境の保全等に関する条例		「指定事業所設置許可申請書」、「指定事業所に係る変更許可申請書」年２回Ｎｏｘ測定、定期報告 異常時の処置と対策･･･問題なし
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置（使用、変更）届出書」、「特定施設使用等開始報告書」排水規制基準、水質測定、定期報告･･･問題なし
横浜市生活環境の保全等に関する条例		公共用水域に排出される排水の規制基準 異常時の処置と対応･･･問題なし
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外･･･問題なし
振動規制法		基準遵守、工業専用地域の為対象外･･･問題なし
工場立地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保･･･問題なし
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」「指定可燃物貯蔵･取扱開始届出書」
	指定可燃物（タンク）	年２回の消防用設備定期点検。
	少量危険物（薬品庫）	「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、防災訓練強化･･･問題なし
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年１回の定期検査、年２回の清掃
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」･･･問題なし
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設（設置、変更）届出書」
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（ＰＲＴＲ法）	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」･･･問題なし
ＰＣＢ廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	コンデンサー	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書（保管事業者用）」密閉（ｓｕｓ製）容器に保管、年１回報告･･･問題なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（規則）	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」･･･問題なし
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出済み、規制基準値内、危害予防規定提出済み。 危害予防規定届出済み、冷凍保安責任者を選任届出済み ･･･問題なし
省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	全社	CO2換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告（省Ｅ法定期報告で代用）･･･問題なし
温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)	全社	「エネルギー管理統括者／エネルギー管理企画推進者選任届出書」、「エネルギー管理者選任届出書」、「定期報告書」、「中長期計画書」 （１％以上／年平均のエネルギー消費原単位低減努力）･･･問題なし
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」（（財）日本容器包装リサイクル協会）･･･問題なし
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告･･･問題なし
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断（特殊検診含む）、有機溶剤中毒予防規則の遵守･･･問題なし

2）違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去、3年間ありませんでした。

9･代表者による全体評価と見直しの結果

2013年度ＥＡ21環境活動は総排水量原単位削減の目標未達成はあったものの、その他項目については目標を達成する事が出来た。次年度以降の環境活動に於いても全従業員一丸となって環境負荷低減の取組みを実施して頂きたい。
尚、今後の取組みについては以下のことに配慮する事。
① グリーン調達の目標設定を事務局にて協議し明確にする事。
（購入実施率なのか購入金額にするのか、グリーン調達を行う必然性や実施する事のメリットなど）
② 環境配慮設計（家庭品）の定義を明確にする事。（環境配慮設計する事の意義、必然性を含め）

10･環境活動報告（2013年度）

環境配慮設計商品の開発発売

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を汚さず肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。弊社家庭品販促･開発部では、環境にやさしい石けん製品を毎年開発しております。今回、厳選した食品由来原料を使用したオーガニック･スキンケア『素肌レシピ』シリーズを発売しました。こちらのシリーズでは、一部製品においてフランスのオーガニック認証『ECOCERT』を取得しています。また、『パックスナチュロンお風呂洗いせっけん』、『パックスナチュロントイレ洗い石けん』、『パックスナチュロン純粉せっけん』、『パックスナチュロン粉せっけん』のリニューアルを行いました。

本年度に開発した商品は、全て以下の『環境配慮設計の基準』を満たしており、素肌レシピシリーズを開発するに当り、フランスのオーガニック認証『エコサート認証』を製造工場と一部製品で取得（化粧水2種･美容オイル1種）しました。

環境配慮設計の基準

❶ ＰＲＴＲ指定物質、医薬部外品の表示指定成分の有害性の指摘のある合成化学物質は使用せず、石けんなどの生分解性良い原料を使用する。
❷ 製品は常圧以下で約１００℃以下の温度で製造する。
❸ 紙、段ボールなどリサイクルできる素材を採用し、塩素を含むプラスチック素材は使用しない。
❹ 詰替可能なものは「詰替用商品」を積極的に作る。

環境配慮商品

● 2013年度新製品　素肌レシピシリーズ

洗顔料

ホイップウォッシュ（ノーマル）

ホイップウォッシュ（モイスト）

化粧水

フレッシュスキンウォーター（ノーマル）

フレッシュスキンウォーター（モイスト）

乳液

スムージーミルク

保湿クリーム

モイスチャークリーム

美容オイル

ドライケアオイル

●2013年度リニューアル製品

お風呂洗いせっけん

パックスナチュロン

トイレ洗い石けん

パックスナチュロン

純粉せっけん N

パックスナチュロン

粉せっけん N

パックスナチュロン

地域への貢献

太陽油脂は会社創立(1947年)当時より、粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。そして近年、「パックスナチュロン」、「パックスオリー」、「パックスベビー」、「お肌しあわせ」シリーズの石けんシャンプーなどの液体石けん類、クリーム類も製造販売してまいりました。この間、消費者や生協などの団体に、石けんについてより詳しく知っていただきたいため、石けんの使い方、石けんの環境に対する良さについて講習会などを通して広くお伝えしてまいりました。また、ホームページ上で毎月2回一般の方の参加の募集も開始し、より多くの方に石けんの良さについて知っていただけるような取組みを開始しました。2013年度は、地域住民・学校・環境団体・NPO団体・生協等を対象に石けん講座、手づくり石けん教室、工場見学会を合計106回実施しました。また、NPO法人や学校などへ協賛品として石けん製品を22回送りました。

石けん講座、工場見学会

○内容

❶ 植物油(オリーブ油、パーム油など)を使用し、精油や天然香料を使用した手づくり石けん
(約5分ペットボトルを振ってつくる。)
❷ 合成界面活性剤などの合成化学物質、PRTR法での第1種指定化学物質を使わないシンプルライフ、石けん生活の提案
❸ 実験による石けんの性質の確認(汚れ落ち、環境への影響、使用のコツ)
❹ ソーラーパネル発電を活用した石けん工場の見学。子供向けには石けんチップを使った石けん作り

○対象(参加団体)

- 生協(パルシステム生活協同組合連合会、よつば生協、ナチュラルコープ横浜、なのはな生協、グリーンコープ連合など)
- 行政・学校(子安小学校、神奈川小学校、横浜緑園総合高校、工学院大学など)
- 共同購入・店舗(太陽サービス、大地を守る会、エトワール海渡など)
- 環境団体(協同組合石けん連絡会、リサイクルデザインフォーラム、エコプロダクツなど)

参加人数
合計 3,233人
(平均　30.5人 / 回)

石けん教室の様子

地域の小学校の総合学習の一環として、昨年に引き続き「石けん教室」を開催しました。身近にある石けんを自分たちの手で実際に作ることにより、愉しみながら環境についての学習が出来たと思います。これらの取り組み内容については、「泡エコ通信(ナチュロン通信)」にして希望者に年3回、3万部配布しています。

エコプロダクツへの出展

太陽油脂は昨年に引き続き、12月12日(木)～14日(土)の3日間、東京ビッグサイトにて行われた「エコプロダクツ2013」に出展しました。環境展示会では国内最大級の規模となり、今年で15回目になります。3日間とも天候に恵まれ、169,076名と多くの方々にご来場いただきました。
太陽油脂では、「少しでも多くの方々に石けんの良さを知ってもらいたい」、「未来の子どもたちの為に、綺麗な地球を残していきたい」、そんな思いから出展させていただきました。当日は、石けんの良さをわかりやすくまとめた「石けんＢＯＯＫ」の他に、ミニサンプルを配布させていただきました。

太陽油脂のホームページ上でも見ることができます。
アニメーションページ:http://www.taiyo-yushi.co.jp/flash/taiyoyushi01_rent0517.html

ＴＶモニターも昨年に引き続き設置し、石けんのことを知ってもらうためにマスコットキャラクター"洗太くん"を登場させて、石けんの歴史や作り方、なぜ石けんは安全なのか等を映像にてご紹介させていただきました。

石けん製品のご紹介では、「パックスナチュロン」製品や、使うたびに爽やかな香りが楽しめる「お肌しあわせシリーズ」、赤ちゃんや敏感肌の方にもお使いいただける「パックスベビーシリーズ」、無添加化粧品の先駆け的存在の「ナチュロン基礎化粧品シリーズ」等を展示しました。また今年は、9月26日に新発売のオーガニックスキンケア「素肌レシピ」シリーズを展示。実際に配合している野菜などと一緒に製品を展示、お試しコーナーにて商品説明をさせていただきました。

泡の数だけ笑顔が増える！お肌しあわせキャンペーン

昨年に引き続き、太陽油脂製品「パックスお肌しあわせ」シリーズの商品売上の一部を、東日本大震災被災者の学校が希望される品物に買えお送りするというキャンペーンを実施しました。

「こどもとあゆむネットワーク」を通じて、宮城県の保育所・小学校へ寄付しました。

2012年下半期（10月～3月）

支援先・支援物	● 橋浦保育所・運動会で使用するピンマイクとヘッドマイク ● 北上小学校・図書室の図書を管理するソフト

2013年上半期（4月～9月）

支援先・支援物	●亘理町吉田児童クラブ ・キュブロ・スタンダードセット ・キュブロパターンバインダー ●亘理町荒浜児童館・カプラ1000 ●仙台市蒲町児童館・カプラ1000 ●石巻市北上町北上プレーパーク ・すべりだい材料他 ●児童館向け・大型絵本

詳細は、太陽油脂ホームページよりご覧下さい。

太陽油脂ホームページ：http://www.taiyo-yushi.co.jp
キャンペーンページ　：http://www.taiyo-yushi.co.jp/soap/products/other/ohada_camp.html

（2013年上半期の内容については、後日更新予定となります。）

社用車のハイブリッドカーへの切替

太陽油脂では、公共の交通機関を活用し社用車の使用を抑えるといった活動を実施していますが、それに加え、2013年度には社用車をハイブリッドカーへの変更を行いました。

対象車		変更後
アリオン：燃費16.23km/ℓ	→	プリウス：燃費27.27km/ℓ
アクセラ：燃費12.98km/ℓ	→	プリウス：燃費22.98km/ℓ

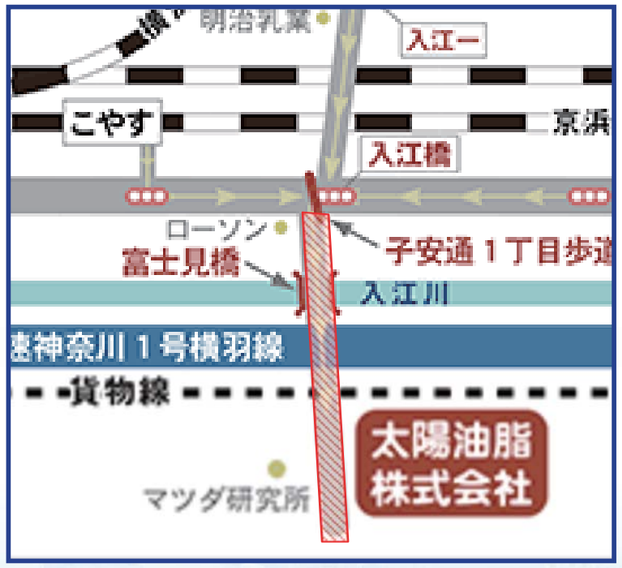
ハイブリッドカーに変更することで、約60%燃費が向上しました。

燃費 60%UP!

地域貢献活動

● **地域清掃**

地域貢献活動として、太陽油脂から国道までの道に掛けて毎週清掃活動を実施しております。
2013年度には51回の清掃を実施しました



＝清掃範囲

● **ペットボトルのキャップ回収・寄付**

ペットボトルのキャップ回収を行い、近隣の子安小学校への寄付を実施しております。
2013年度は、14kgを子安小学校へ寄付しました。

● **町内会への協力**

8月に町内会へイベントの協賛品として石けんを3ケース寄付しました。

太陽油脂株式会社